



< 貫会長の話し > R2.2.27 例会

皆さんお元気そうで何よりです。

とうとう福岡でコロナウイルスの患者が出てしまいました。60歳代の男性の方で13日に発熱をされたということです。

いま一番気になっているのは、いろんな催しものが延期になったり中止になったりしていることに加えまして、海外から日本の対応に対して不信感がでてきているような感じがいたしております。特にダイヤモンドプリンセス号の対応に対する不信感が出ていのではないかとということで、ユーチューブなどでも出ておりますが、神戸大学の岩田教授さんが2月18日に乗船して追い出されて、その結果として日本の対応がしっかりとできていないと。レッドゾーンとグリーンゾーンに分けてはいるが管理ができていない、いつ感染するか分からない状況であると。本人も乗船したということで、自分自身を隔離して人に会わずにユーチューブに載せてるということでもあります。

海外から日本人の渡航自粛要請があったとか、2月19日に中国の衛生健康委員会がエアロゾル感染の可能性があると発表したということもあって非常に心配です。特にオリンピックにこれがどういふ影響を与えるのか、世界経済にどれだけ影響を与えるか心配ですが、ロータリー活動もコロナウイルスの状況を見ながら、南ロータリークラブもどうするか検討していかなければならないと思う次第です。以上で牟田先生にバトンタッチさせていただきます。

< 牟田副会長の話し >

新型コロナウイルスは死亡者数から言って、感染率は確かに高いが、致死率が低いと結論付けるのは時期尚早です。クルーズ船は3000人分の600人の感染ですから、これは明らかな失策ですよ。全国で院内感染が4件も、4次感染まで行っている。本日福岡で見つかった68歳の男性もどこからかかったかわからないんですよ。ご本人は注意深い方で、町にも出ていないらしい。とにかく未知のものだから軽く考えないでほしい。最悪のことを考えて対策を打つべきというのが私の考えです。私たちが一番興味あるのは治療法、今朝も言っていたが「クロロキン」というマラリアの薬と、「アルビートル」これはインフルエンザの薬の「タミフル」のこと、タミフルはインフルエンザの際に予防投与する。今回も初期投与にタミフルは予防という観点でいいのではないかと思います。あとエイズの薬は効くようですね。日本はまだ治験だと言ってる、厚労省はちょっと鈍いですね。

うちでは、マスクはしろと、眼鏡はつける、そして目がいい人はゴーグルをつけさせて、始業時と終業時にアルコール消毒する。便座は使用前使用後に拭く、受付は全員手袋使用としてしています。マスクを洗って使いまわせるか貫会長から以前聞かれたが、実験したら化学繊維の3重構造で、洗うと繊維が弱くなるが、それでも飛沫感染防止という意味で洗ってでも付けたほうがいい。あとエアロゾル感染の可能性もあるようですので、くれぐれも皆さん気を付けて、毎回例会に出れるようによろしくお願ひします。